院内感染防止対策に関する取組事項

1. 院内感染対策に関する基本的な考え方

感染防止対策は、安心・安全な医療提供の基盤となるものです。

当院は、感染防止対策を病院全体として取り組み、病院に関わる全ての人々を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行うことに努めます。

2. 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項

当院における感染防止対策に関する意思決定機関として、院内感染防止対策委員会を設置し、毎月1回会議を行い感染防止対策に関する事項を検討します。

また、感染防止対策チームを委員会内に設置し、感染防止対策の実務を行います。

3. 院内感染対策のための従業者に対する研修に関わる基本方針

職員の感染防止対策に対する意識・知識・技術向上を図るため、全職員を対象とした研修会・講習会を年2回以上行います。

4. 感染症の発生状況の報告に関わる基本指針

法令に定められた感染症届出の他、院内における耐性菌等に関する感染情報レポートを作成し、感染防止対策チームでの検討及び現場へのフィードバックを行います。

5. 院内感染発生時の対応に関わる基本指針

感染症患者が発生または疑われる場合は、感染防止対策チームが感染対策を速やかに対応します。また感染防止対策チームは連携している医療機関が開催するカンファレンスに年4回以上に参加し、院内感染が発生した場合の緊急対策を共有し、通常時から他医療機関や保健所と速やかに連携し対応します。

6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針

本取組事項は院内に掲示し、患者様及びご家族様などから閲覧の求めがあった場合はこれに応じます。

7. その他の当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針

院内感染防止対策の推進のための「院内感染防止対策マニュアル」の病院職員への周知徹底を図るとともに、マニュアルを見直し、改訂を行います。

令和4年4月1日
阿品土谷病院
院内感染防止対策委員会